

平成23年度事業報告について
(平成23年4月1日から平成24年3月31日)

概要

尾瀬の優れた自然環境の保護と適正な利用を図るため、利用者等を対象に、利用マナーの啓発、自然への理解を深める解説活動等を実施するとともに、荒廃した湿原の植生復元、尾瀬山の鼻、尾瀬沼の両ビジターセンターやその他施設の管理・運営、ツキノワグマ対策や尾瀬国立公園利用適正化のための調査事業等を受託、実施した。

また、東日本大震災の影響により尾瀬サミットは開催できなかったが、「尾瀬フォーラム in 尾瀬沼」を開催し、尾瀬関係者等と共に尾瀬のこれからについて意見交換を行った。

さらに、ガイド認定制度を推進する「尾瀬ガイド協会」の事務局業務を同会から受託し、ガイド認定のための検定試験を実施した。

このほか、「尾瀬ビジョン」の進行管理等を行うための「尾瀬国立公園協議会」の事務局として各関係機関の進捗状況を確認した。

実施事業

1 利用者啓発事業

(1) 入山者啓発事業

入山口における案内・啓発

尾瀬の環境美化や利用者のマナー向上を図るため、入山口(鳩待峠口・沼山峠口・大清水口、滝沢口、馬坂峠口、猿倉口)において、尾瀬ボランティアの協力を得て入山者への案内・啓発を実施するとともに、関係機関・団体と連携してごみ持ち帰り運動を実施した。

尾瀬ボランティアの活動支援

尾瀬ボランティア(平成24年2月1日現在登録者数:340名)による入山口啓発、美化清掃活動等を支援した。

また、登録済みボランティアの啓発活動等の技術向上と新規ボランティアの現地研修を開催した。

ア 入山口啓発活動

利用マナーや現地状況の説明、靴底の種子落とし指導、軽装者への注意喚起等

	活 動 期 間			延べ合計
	5月～6月	7月～8月	9月～10月	
鳩待峠	41人 (10日)	20人 (6日)	22人 (8日)	83人 (24日)
沼山峠	4人 (2日)	3人 (1日)	6人 (4日)	13人 (7日)
大清水	10人 (2日)	3人 (1日)	14人 (3日)	27人 (6日)
滝 沢		0人 (0日)	2人 (1日)	2人 (1日)
馬 坂	4人 (3日)		4人 (2日)	8人 (5日)
猿 倉	2人 (1日)	0人 (0日)	0人 (0日)	2人 (1日)
延べ合計 (設定日数)	61人 (18日)	26人 (8日)	48人 (18日)	135人 (44日)

イ 至仏山東面登山道周辺植生保護

・踏み込み防止柵設置 6月26日 柵撤去 10月23日

ウ お話しボランティア（スポット解説）活動

	活 動 期 間			延べ合計
	5月～6月	7月～8月	9月～10月	
尾瀬ヶ原地区	6人 (3日)	6人 (6日)	3人 (3日)	15人 (12日)
尾瀬沼地区	6人 (4日)	4人 (1日)	9人 (3日)	19人 (8日)
延べ合計 (設定日数)	12人 (7日)	10人 (7日)	12人 (6日)	34人 (20日)

エ 尾瀬巡回清掃

7月9日、8月27日

オ ありがとう尾瀬清掃活動

9月10日、10月15日

カ ボランティア研修

6月18日～6月19日（ボランティア講座）

キ ビジターセンター支援ボランティア

山の鼻ビジターセンターの運営を協働（延べ39名）

ク その他

尾瀬等での自主ボランティア活動、事務局での事務ボランティア等

ガイド利用の普及促進

ア 尾瀬ガイド協会の事務局運営

尾瀬におけるガイド養成及び認定制度を運営する機関である「尾瀬ガイド協会」から事務局業務を受託し、協会運営を行った。

また、自然ガイド、登山ガイド認定のための検定試験を実施した。

イ 尾瀬自然解説ガイド事業

尾瀬ヶ原及び尾瀬沼において、申し込みに応じ尾瀬自然解説ガイドによる自然解説ガイド事業（有料）を実施した。

・ガイド登録者数 28名

・活動実績 239人をガイド

(2) 自然解説事業

自然解説活動の実施

適正利用を啓発するとともに、利用者が尾瀬の自然の大切さについて認識を深めることを目的として、尾瀬山の鼻、尾瀬沼両ビジターセンターにおいて、自然観察会やスライドショー、団体レクチャーなどを実施した。

ア 尾瀬山の鼻ビジターセンターでの活動実績

・自然観察会	実施回数	42回	参加者	525人
・スライドショー	実施回数	43回	参加者	1,385人
・団体レクチャー	実施回数	9回	参加者	211人
・環境学習（ミニツアー）	実施回数	104回	参加者	380人

イ 尾瀬沼ビジターセンターでの活動実績

・自然観察会	実施回数	42回	参加者	417人
・スライドショー	実施回数	53回	参加者	1,548人

・ビデオ上映	実施回数	157回	参加者	3,998人
・団体レクチャー	実施回数	19回	参加者	913人

環境学習推進業務

群馬県からの委託により、ビジターセンターにおいて、尾瀬の「環境学習の場」としての利用促進を図りつつ、尾瀬の円滑な利用を確保するために、尾瀬学校の受け入れ協力とガイド研修の実施、移動尾瀬自然教室を行った。

同時に、群馬県内の学校に加え首都圏をはじめとする群馬県外の学校の利用調整に資するため、インターネット・ウェブサイト上での情報発信業務を実施した。

講演依頼対応 実施回数 20回

(3) 研修事業

新規職員等導入研修

職員の資質向上と円滑な業務運営を図るため、新規職員等を対象に、国立公園制度や尾瀬の概況等の研修を実施した。

・5月9日～10日（群馬県庁）

救急法研修

尾瀬での傷病者対応に必要な救急の知識・技術を習得するため、ビジターセンター職員等がMFA（メディック・ファーストエイド）の基礎コースについて学んだ。

・5月16日～17日（尾瀬山の鼻ビジターセンター）

・5月25日～26日（尾瀬沼ビジターセンター）

(4) 普及啓発事業

財団機関誌「はるかな尾瀬」の発行 年2回発行（1、3月）

第16回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト及び写真展の開催

NHK前橋、福島、新潟放送局と財団にて組織するNHK「わたしの尾瀬」実行委員会事務局にて主催するフォトコンテストを実施するとともに、入選作品や財団パネルの展示、スライドレクチャーを内容とした写真展を各地で開催し、尾瀬の自然保護について普及啓発した。

・フォトコンテスト 応募作品数 832点 入選数 50点

・写真展 9月1日～9月6日 NHK名古屋放送局（愛知県）

12月16日～12月21日 高崎シティギャラリー（群馬県）

1月17日～1月23日 群馬県庁県民ホール（群馬県）

啓発リーフレット等の作成・配布

利用マナーの向上、尾瀬の案内、自然解説等に資するため、ハイキングガイドなどを配布したほか、利用分散化の推進等のため尾瀬地域交通対策パンフレットを作成し、関係機関や一般入山者に配布した。

各種イベントにおける尾瀬保護と適正利用の啓発

尾瀬の保護と適正利用について一般の人々の理解を深めるため、関係機関等が開催する各種イベント等の会場内に「尾瀬コーナー」を設け、利用マナーの向上と平日利用、入山口分散化等の呼びかけを行った。

・JATA 旅博2011 9月30日～10月2日（東京都江東区）

・第13回ぐんま環境森林フェスティバル 10月2日（群馬県前橋市）

ホームページの管理運営

財団の事業、財務状況等の情報をホームページに掲載し、財団の活動について周知を図るとともに、財団の活動によって収集されたタイムリーな尾瀬の自然情報や尾瀬の貴重な

自然の成り立ちの紹介、入山マナーの啓発などを通じ尾瀬の適正利用の推進を図った。

尾瀬ガイドの実施

利用者のマナー向上や利用の分散化を図るため、関係機関・団体と連携して、旅行会社や出版社等を対象としたガイドを開催し、尾瀬の現状と適切な利用方法を周知するとともに、協力を呼びかけた。

- ・ 6月7日～8日 現地ガイド 8社11名参加(群馬県(尾瀬ヶ原))
- ・ 12月5日 (社)日本旅行業協会 49社83名参加(東京都)

2 環境保全事業

(1) 植生復元事業

福島県及び群馬県からの委託により、入山者の踏み込み等により植生が荒廃又は裸地化した湿原の植生を復元・保護する作業を実施した。

- ・ 尾瀬沼地区及び尾瀬ヶ原地区の保護柵設置
- ・ 至仏山東面登山道及び笠ヶ岳登山道沿いの踏み込み防止柵設置等
- ・ 至仏山東面登山道Dブロック植生復元作業

(2) 至仏山保全対策

至仏山保全対策会議

登山道周辺の植生の荒廃が深刻な状況となっている至仏山について、残雪期に調査を実施して、植生保護と利用の適正化に向けた対策の検討を行った。

- ・ 残雪期現地調査 4月20日
- ・ 第8回至仏山保全対策会議 2月29日

至仏山環境調査専門委員会

至仏山保全対策の方向性を示した「至仏山保全基本計画」において、登山道の付け替えが検討されている区間を対象に、現登山道の継続利用と迂回ルート候補地の環境負荷に関する科学的調査を企画・実施し、検討区間の登山道のあり方について総合的な評価を行うため、至仏山環境調査専門委員会を設置した。平成23年度は震災の影響により現地調査等ができなかった。

至仏山気象観測業務

至仏山保全対策に資するため、至仏山の気象に関する基礎データを収集した。

(3) 山ノ鼻地区気象観測

山ノ鼻地区に気象観測装置を設置し、データを収集、整理した。

3 施設管理事業

(1) 施設維持管理事業

ビジターセンターの管理運営等

ア 環境省尾瀬沼ビジターセンターの管理運営

開館期間 5月1日～11月2日 189日間

イ 群馬県尾瀬山の鼻ビジターセンター管理運営

開館期間 5月15日～10月28日 167日間

公衆トイレの維持管理

ア 尾瀬沼地区公衆便所(環境省設置)清掃等

- イ 群馬県尾瀬地区山の鼻・竜宮公衆トイレ（群馬県設置）維持管理・清掃等
その他公園施設等の維持管理
- ア 木道等の簡易補修
- イ ツキノワグマ対策のための刈り払い
- ウ 登山者カウンター（大江湿原、三平下、山ノ鼻（尾瀬ヶ原側）、至仏山（研究見本園側）の管理（環境省所管）
- エ 橋の開通・閉鎖・除雪
下ノ大堀川橋（群馬県設置）

(2) 利用者対策事業

尾瀬沼、尾瀬山の鼻の両ビジターセンターに危険箇所などの掲示を行った。

4 調査研究事業

(1) 国立公園利用適正化推進事業

環境省からの委託により、尾瀬の貴重で繊細な自然環境を将来にわたり保全していくために、以下の事業を行った。

適正利用促進事業

ア 快適利用の促進

ウェブサイト「すいすい尾瀬なび」を使った現地情報（自然・歩道状況等）のインターネットによる発信を週1回程度の頻度で実施した。

イ 調査研究促進のための支援実施

「尾瀬生物多様性情報システム」の内容を拡充し、インターネット利用による尾瀬に関する学術研究についての情報発信を継続して実施した。また、カテゴリー別の検索項目の見直しを行うとともに、継続的に発行されている行政関係の報告書等について、利用者が検索しやすいような改善を検討した。

ウ 効果的な情報提供のあり方の検討

一元的な情報の管理により、インターネット利用の情報発信を効果的に実施することを目的として検討した「尾瀬生物多様性情報システム」及び「すいすい尾瀬なび」を融合したウェブサイト「尾瀬データセンター（仮称）」について、昨年度に引き続き検討した。

エ 低利用入山口・ルートの利用方法の促進

平成21年度より鳩待峠の利用集中緩和を目的とした低利用入山口・ルートを活用を検討しており、平成23年度は平成22年度に検討した活用プランを活用し、公園利用者に「大清水地区」の利用を提案できるよう、活用プランを活用する者を対象としたワークショップを開催。今後、活用プランを実行に移していくための課題、地域の発展のためにつなげていくための課題を抽出し、その対応を検討した。

また、その結果について「大清水地区」を周知するためのパンフレット（案）の作成を行い、関係機関から意見募集を行った。

尾瀬ビジョンの進行促進事業

ア 尾瀬国立公園協議会の運営

尾瀬ビジョンの進行促進を目的に設置された「尾瀬国立公園協議会」を運営し、平成21年度に策定した「尾瀬ビジョンのカテゴリーAの取組方針」の運用、各者の尾瀬ビジョンに関する取り組みの進行状況の把握を協議会の中で行い、尾瀬ビジョンの実現化を図った。

- ・ 第7回会議 5月26日 環境省関東地方環境事務所（埼玉県）
 - ・ 第8回会議 9月16日 ホテルリブランテ（埼玉県）
 - ・ 第9回会議 2月16日 環境省関東地方環境事務所（埼玉県）
- イ 快適利用の促進（利用分散等）に関する小委員会の運営補助
平成21年度に関東地方環境事務所が事務局として設置した「快適利用の促進（利用分散等）に関する小委員会」について、資料作成のための情報収集や会場設営等の運営補助を行った。
- ・ 第8回会議 6月27日 環境省関東地方環境事務所（埼玉県）
 - ・ 第9回会議 2月 6日 環境省関東地方環境事務所（埼玉県）
- ウ 「生態系の状況の的確な把握」に関する小委員会の設置、運営
平成22年度に設置された「生態系の状況の的確な把握に関する小委員会」の事務局業務（委員の招集、資料作成、会場設営、議事進行、議事録作成等）として、平成23年度は論文や調査データ等の収集を行い、その提供方法について検討を行った。

(2) ツキノワグマ対策事業

「尾瀬国立公園ツキノワグマ対策協議会」の事務局として、会議の運営を行うとともにツキノワグマ対策員が中心となり、各種対策、生息状況調査を実施した。

- ・ 6月24日 尾瀬国立公園ツキノワグマ対策協議会（片品村戸倉）
- ・ 3月 5日 尾瀬国立公園ツキノワグマ対策協議会（埼玉県）
- ・ ツキノワグマ対策

山ノ鼻地区、ヨシッ堀田代地区、竜宮地区、尾瀬沼地区にて、環境省等から任命されたツキノワグマ対策員が、「尾瀬国立公園ツキノワグマ出没対応マニュアル」に基づき、関係者と協力してクマとの遭遇を防止するための刈り払いなどの対策を実施。クマ頻出時には、集中対策として朝夕の巡視を行うとともに、追い払いを実施した。

5 顕彰事業

「湿原」に関する学問的・学際的研究の進展を図るとともに、環境保護に関する関心を高めることを目的とし、第15回尾瀬賞の募集と選考を行った。

尾瀬賞選考委員会

- 10月23日 第15回尾瀬賞一次審査結果報告、二次審査の担当選考者決定
- 12月25日 授賞推薦者決定、選外者への結果通知、運営委員会への提案・要望について

尾瀬賞運営委員会

- 9月18日 尾瀬賞選考委員の推薦、第15回尾瀬賞選考日程、尾瀬賞選考委員会規程の一部改正（事項追加）について、他賞受賞者の取扱いについて
- 2月 4日 授賞推薦者決定、応募者への結果通知について、第16回尾瀬賞の募集について、第14回、15回尾瀬賞授賞式について、尾瀬賞に対する支援企業の募集について

受賞者

〔尾瀬賞〕

授賞適任者なし

〔尾瀬奨励賞〕

田中 周平 京都大学大学院地球環境学堂環境調和型産業論分野准教授
【研究内容】琵琶湖岸水生植物群落の植生構造分析とその保全・再生に関する
研究

6 友の会等事業

(1) 各種イベントや財団ホームページを通じて尾瀬の応援団としての友の会会員募集を行った。21年度からは、会員期間を年度制から年間制に変更することにより1年をとおして入会の促進を図るとともに、会員に対しては、メールマガジンや、機関誌「はるかな尾瀬」の送付などを通じ、尾瀬に関する情報の提供を行った。

・平成17年度	賛助会員 28社	個人会員 1,646人
・平成18年度	賛助会員 38社	個人会員 1,453人
・平成19年度	賛助会員 27社	個人会員 1,505人
・平成20年度	賛助会員 25社	個人会員 1,486人
・平成21年度	賛助会員 22社	個人会員 1,279人
・平成22年度	賛助会員 23社	個人会員 1,151人
・平成23年度	賛助会員 18社	個人会員 1,044人
		(うちコース会員 3人)
		(うち家族会員 68人)

(2) 寄付金の募集

財団事業の充実と財務基盤の強化を図るとともに尾瀬に対する幅広い支援を求めるため、ホームページ等を通じて寄付を呼びかけた。

7 関係者連携対策事業

(1) 「尾瀬フォーラムin尾瀬沼」の開催

- ・開催日 平成23年9月8日～9日
- ・場所 尾瀬沼ビジターセンター
- ・主な内容 基調講演「みんなでゆっくり楽しむ尾瀬」～エコツアーの観点から～
講師 東京大学大学院 農学生命科学研究科森林科学専攻
森林風致計画学研究室 助教 伊藤 弘 氏
意見交換会「これからの尾瀬を考える」
- ・参加人員 52名

8 財団の運営

財団の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会、評議員会及び企画運営委員会等を開催し、尾瀬及び財団に関する諸課題について意見交換等を行った。

(1) 理事会、評議員会の開催

理事会

ア 第35回理事会(書面表決)

- ・日時 6月24日
- ・議事(議案)
 - 1 平成22年度事業報告について

- 2 平成22年度決算について
- 3 基本財産への繰り入れ及び管理について
- 4 常務理事の選任について
- 5 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について
- 6 評議員の任期満了に伴う改選について
- 7 尾瀬賞運営委員会委員の任期満了に伴う改選及び委員長の選任について
- 8 事業計画の変更について

イ 第36回理事会

- ・日 時 3月12日 午後2時45分～
- ・会 場 都道府県会館
- ・議 事（議案）
 - 1 平成23年度収支予算の変更について
 - 2 平成24年度事業計画について
 - 3 平成24年度収支予算について
 - 4 尾瀬賞運営委員会委員の選任について
 - 5 公益財団法人移行に伴う最初の評議員の候補者について
 - 6 公益財団法人移行に伴う最初の代表理事等の決定と「定款の附則」への記載について
 - 7 公益財団法人移行に伴う最初の評議員選定委員会委員の選任について
 - 8 公益財団法人移行に当たり必要な定款変更について
 - 9 尾瀬賞選考委員会規程の一部改正について

評議員会

ア 第35回評議員会（書面表決）

- ・日 時 6月24日
- ・議 事（議案）
 - 1 平成22年度事業報告について
 - 2 平成22年度決算について
 - 3 基本財産への繰り入れ及び管理について
 - 4 理事の辞任に伴う後任理事の選任について
 - 5 事業計画の変更について

イ 第36回評議員会

- ・日 時 3月12日 午後0時45分～
- ・会 場 都道府県会館
- ・議 事（議案）
 - 1 平成23年度収支予算の変更について
 - 2 平成24年度事業計画について
 - 3 平成24年度収支予算について
 - 4 理事の辞任に伴う後任理事の選任について
 - 5 ～ 22
公益財団法人移行に伴う最初の役員の選任について
 - 23 公益財団法人移行に伴う最初の評議員選定委員会委員の選任について
 - 24 公益財団法人移行に当たり必要な定款変更について
 - 25 尾瀬賞選考委員会規程の一部改正について